

読んでほしいな。

ティーンズコーナー 新着図書10月分

新しく入った本の中から
ピックアップして紹介します



これが目じるし↑

【高校生しなくてもいいこと 学校、友だち、自分に悩むあなたへ
(飛び出せ高校生! Vol.3)】 渡辺憲司／執筆・監修 小林実／監修・編集協力 旺文社
高校生が「しなくてははいけない」と思い込んでいるけれど、面倒、ウザイと感じていること。アンケートから見えるそれらを分析し、ピックアップ。50年以上教員生活を送った渡辺憲司先生が、「そんなこと、しなくてもいいんだ」と優しく、心に残る言葉でアドバイスします。ガマンしているすべての高校生に贈る禁断の書。

【私立五芒高校 恋する幽霊部員たち】 谷口雅美／著 あわい／画 講談社
高校の入学式の日校内で迷った要に、渡り廊下で体育館への行き方を教えてくれた色白の美少女は、音楽室のユーレイ？ ハイスパック男子のスバルが憧れの雪乃にさりげなく告白するため、演劇部の友人たちが肝試しを企画したけれど、当日雪乃が一番ノリで現れて……。1話5分で読める、学園オカルト&ラブ連作短編集。

【教科書の外で出会う、ぼくらの身のまわりの理科 (14歳の世渡り術)】
うえたに夫婦／著 ガリレオ工房／監修 河出書房新社
「さびる」ってどういうこと？ なぜ花火の音は遅れて聞こえる？ 色付きスティックのりの色が消えるのはなぜ？ など、日常で感じる疑問を愉快的キャラクターたちがマンガでわかりやすく解説！

【養老先生のさかさま人間学】 養老孟司／著 さとうまなぶ／イラスト
ミチコーポレーションぞうさん出版事業部
身の回りの風景、社会のありかた、心の持ちかた……いろんなことを「さかさま」に見てみよう。「バカの壁」の著者であり解剖学者の養老孟司先生が、自分の頭で考えるための85個の視点を伝授する。——「考えないと楽だけど、楽をするとあとで損しますよ」

読みたかった本がある
…かもしれない
《ティーンズコーナー》
をのどきに来てね。